

第三回学内個展 | 博士課程学位申請リサイタル

ATSUSHI YAMAJI - Images & Melodic LiNES

山路 敦司

映像と“線”律

京都市立芸術大学 大学会館ホール | 入場無料

2016年12月15日(木)午後6時開場 / 午後6時30分開演

【演奏】芳村直也 (龍笛・篠笛その他) | 木村ハルヨ (二胡) | 新鍋佑菜 (笙) | 小山豊 (津軽三味線)

白井康浩 (エレクトリック・ギター) | パール・アレキサンダー (ベース) | トーチカ (映像インスタレーション) | 他

【曲目】映画『悲しき天使』より / 映画『正長の土一揆』より / 映画『蜘蛛の糸』より / 映画『青銅の基督』より
/ DIES IRAE / LiNESOFLiGHT

京都市西京区大枝沓掛町 13-6 京都市立芸術大学 教務学生課 音楽担当 075-334-2222 <http://www.kcua.ac.jp/access/>

ポピュラー音楽としての アカデミズムとプラグマティズムの 領域横断を実践する音楽家、 山路敦司の作曲作品個展。

博士課程における研究テーマである「武満徹のポピュラー音楽に見られる作曲語法 -映画音楽における旋律の分析による実証を中心に-」と関連し、武満の映画音楽におけるポピュラー音楽的作曲手法～自作引用、即興、他者との協同作業、旋律の音高遷移的特徴など～について、博士課程在籍中に作曲を手掛けた映画及びアート・アニメーションの音楽作品を中心に、それらを自己の作曲手法として応用し実践するかたちで解体と再構成を行い、映像インスタレーション作品とのコラボレーションも含めた音楽リサイタルとして発表するものである。



山路 敦司 (作曲)

クラシック、現代音楽の作曲家として活動する傍ら、映像音楽からポピュラー音楽まで幅広く手掛ける。特にコンピュータ音楽やノイズ音楽において多くの海外

の音楽祭で作品が発表され高く評価されている。Cartier や Panasonic Latin America 等の海外向け広告音楽の他、アート・デュオのトーチカとの協同による一連のアニメーション作品は上海万国博覧会や世界中の映画祭で入選し上映されている。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。スタンフォード大学 Center for Computer Research in Music and Acoustics (CCRMA) 客員研究員、国際情報科学芸術アカデミー (IAMAS) を経て、現在は大阪電気通信大学総合情報学部教授を務める。映画『悲しき天使』(監督: 大森一樹) で第2回おさかシネマフェスティバル音楽賞受賞。その他、長年に渡りゲーム音楽を多数手掛け、ニューメディアとしてのビデオゲームにおけるサウンド表現の可能性を研究しており、芸術とエンタテインメントの領域を横断する活動は多岐にわたる。The15th & 16th Asian Composers' League / Digital Arts Week 2002 "Beyond Noise" / The 3rd North Carolina Computer Music Festival / The 11th International Electroacoustic Music Festival "Primavera en La Habana" / The 2007 Sonorities Festival of Contemporary Music/4th Vienna Modern Masters Orchestral Recording Award / 1st PUY of Electroacoustic Music (Occasional Electroacoustic Music), The 21st Bourges, International Electroacoustic Music Competition/Valentino Bucchi Award 1993 International Composition Competition / 第 61 回日本音楽コンクール作曲部門 (オーケストラ作品) / 第 20 回文化庁舞台芸術作品創作奨励賞など、入選および上演多数。http://sushilab.jp



芳村 直也 (龍笛・篠笛その他)

大阪府出身。地方楽師の家に生まれ育ち、幼い頃から神社での祭典奏楽と神楽に慣れ親しむ中で龍笛奏者となる。ジャズ、ポップスにも深い探究心を持ち、伝統雅楽、浪速神楽、西洋クラシック、童謡、ポップスまで様々なジャンルの楽曲を龍笛で演奏するスタイルは伝統音楽や雅楽の初心者にも親しみやすく、その魅力を余すことなく平易に伝える役割を果たすことの出来る存在である。現代雅楽ユニット・天地雅楽に結成初期から参加し、様々なメディアに登場する一方、日本各所ならびにフランスでの演奏を数多く経験。



木村 ハルヨ (二胡)

神戸生まれ。本場中国で学んだ確かな技術を礎に、そのアーティスト的な感性を活かした自由な活動は”もはや木村ハルヨという新ジャンル”と評され、”二胡界のDIVA 歌姫”とも呼ばれている。二胡古典曲のリサイタルを成功させる一方で、ロックバンドや朗読ユニットの中心メンバーとしても活躍。年間150ステージを越える演奏活動を日本全国、世界各地で行い、今もっとも革新的な日本人プロ二胡奏者として多方面より大きな注目を集めている。http://www.kimuraharuyo.com/



新鍋 佑菜 (笙)

大阪府在住。大学在学時より神社で巫女として奉仕、卒業後ご縁があり常勤巫女として奉職した際にその音色に惹かれ笙の奏楽を始め。浪速神楽の神楽巫女、祭典奏楽の伶人として奉仕を続けるなか、より神道の知識を深めるため神職免許も取得した。現在大阪府下の神社を中心に巫女・伶人・神職(見習い)として祭典奉仕をする傍ら、神社の文化や雅楽の魅力をより多くの人に知ってもらうきっかけとなればという想いで神楽舞の奉納や笙での演奏活動に参加している。



小山 豊 (津軽三味線)

日本最大流派の1つである津軽三味線小山流の三代目として、国内・海外で演奏活動を行う。2001、2002年(財)日本民謡協会津軽三味線コンクールで優秀賞を連続受賞。2011年ニューヨーク・カーネギーホール主催コンサート、2013年セルバンティーノ国際芸術祭(メキシコ)に招聘、2014年には中米ツアーを成功させる。ソロアルバム [OYAMAYUTAKA] をリリースする他、レコーディングやテレビ出演、指導などその活動の幅は広く多方面のジャンルにおいて活躍中である。



白井 康浩 (エレクトリック・ギター)

名古屋を拠点に年間100本前後のライブを国内外で行う。これまで500人を越える海外アーティストとの共演があり世界中に幅広くネットワークを持っている。ノイズ、音響、身体表現、舞踏、コンテンポラリーダンス、映像作家、書家、朗読、無声映画などと超ジャンルな活動をする異色インプロヴァイザー。インプロ思考法という即興演奏に対する独自のアプローチ法も発信している。http://www.usui-yasuhiro.com



パール・アレキサンダー (ベース)

米国アイオワ州育ち。ミシガン大学にてダイアナ・ガネット氏に師事。作曲家ウィリアム・ボルコムとのオーケストラ録音(グラミー賞受賞アルバム)に参加。2006年より活動拠点を日本に移し、即興音楽を中心に活躍中。2013年スイス、モントルー・ジャズ・フェスティバルに登場。2015年「メモリーズ・オブ・プリミティブ・マン/オノ セイゲン and パール・アレキサンダー」をソニー・ミュージックよりリリース。



トーチカ TOCHKA (映像インスタレーション)

ナガタタケシとモノカヅエによるアートデュオ。主な作品にペンライトで空中に描くアニメーション作品「PIKAPIKA」シリーズ。制作においては「実験的精神」を掲げ、試行錯誤の中から、ハッピーアクシデント(偶発的な幸運な出来事)を誘う。受賞歴/2016年「TRACK」オランダ国際アニメーション映画祭 ノンナラティブ部門 グランプリ / 2015年「TRACK」キプロス国際アニメーション映画祭 グランプリ / 2006年「PIKAPIKA」文化庁メディア芸術祭 アニメーション部門 優秀賞

若桑 江織 (映像)

江川 菜緒 (1st ヴァイオリン)、大堀 裳矢子 (2nd ヴァイオリン)
坪之内 裕太 (ヴィオラ)、鷺見 敏 (チェロ)、志賀 俊亮 (ピアノ)